

The World Times -10月号-

1-5 石下優奈 1-7 徳原芽泉

今月の World Times は、10月にちなんで、「世界のハロウィーン」をテーマに韓国在住の大学生ジョウ・ウサンさんにメールで、そして、アメリカに9年住んでいた17歳の帰国子女のY・Kさんと同じくアメリカに5年住んでいた18歳の帰国子女のS・Hさんに直接インタビューを行い、各国のハロウィーンについてご紹介します。2020年のコロナウイルス感染拡大の影響を受け、多くのイベントが制限されてきましたが、最近になりだんだんと様々なイベントが復活しています。皆さんには、この10月号を通して、世界各国のハロウィーンについて知ってもらい、日本とのハロウィーンとの違いを楽しんでほしいです。

★ハロウィーンの起源

ハロウィーンとは、キリスト教の万聖節(すべての聖人と殉教者を崇敬する日)の前夜祭です。現在のアイルランドに住んでいた、古代ケルト人の秋の収穫を祝い、悪霊などを追い出す宗教行事“サウイン祭”が起源です。ハロウィーンは、日本のお盆と考え方が非常に似通っています。仮装の文化もサウイン祭で死者とともに入ってくる悪霊よけの仮面がもとになっています。19世紀アメリカに移住したアイルランド人によりアメリカへと伝わり、アメリカでのサウイン祭りが現在のハロウィーンに発展していきました。

★ハロウィーンの特徴、ジャックオーランタンの起源

古代ケルト人の影響の強いアイルランドの古い民話「ケチで嘘つきなジャックが生前の悪行で地獄すら行けませんでした。そこで、悪魔にもらった石灰に火をつけ、カブのランタンを灯し、さまよった」というお話が元となりました。今のカボチャになったのは、移住したアイルランド人により伝わったアメリカがカブより、カボチャが手に入りやすかったことに由縁しています。また、カボチャのほうがくりぬきやすかったことも関係しています。



★お隣韓国のハロウィーン ジョウ・ウサンさんより

韓国では、定着しつつあるが、日本のようにハロウィーンは有名ではなく、英語の幼稚園に通っている子や、すごく小さい子たちがやっています。一部の大学生たちは、仮装して(韓服を着ることもある)、お酒を飲んでいて親たちに金の無駄遣いといわれます。ハロウィーンのお菓子や、仮装などが商売道具になっているのでやろうと思わない人が大半。テーマパークの飾りやアニメのストーリーがハロウィーン仕様になっていたりする。また、渋谷のように当日にイテウォン(左の写真)というアメリカ人の多く住む町で人が集まっています。



→韓服



ちなみに、韓国のハロウィーンは日本から来ました。

★個性的メキシコのハロウィーン

メキシコのハロウィーンはラテンアメリカの祝日。10月31日から11月2日まで死者の日と呼ばれ、町中が骸骨であふれ、カラフルに装飾されます。メキシコの人にとって死は怖いものではなく、3日間夜中まで死者を笑顔で迎えるために花火、音楽、パレードが行われます。テキーラを飲み、エルパンデムエルトという人の顔が装飾されたパンを食べます。“オフレンダ”という死者のための祭壇に骸骨、マリーゴールド、故人の好きなものを飾ることが一般的です。マリーゴールドは、死者の世界から現世の祭壇までの道しるべとなる花です。骸骨のペイントを顔にして、街を歩いたりします。この死者の日は2003年ユネスコ無形文化遺産に登録され、また、映画『リメンバー・ミー』のモデルにもなりました。

→エルパンデムエルト



★アメリカハロウィーン Y・Kさん、S・Hさんより

自分の家や友達の家を招待され、みんなでパーティーをします。パーティーでは、みんな仮装をします。パンプキンパッチで大きなカボチャを買って自分たちでジャックオーランタンを作るのが毎年恒例です。くりぬいたカボチャの中身でカボチャのスープを作ったりします。学校でハロウィーンパーティーが開催されることもあります。先生たちや友達のご両親からお菓子をもらったり、先生方も仮装をして、仮装コンテストをしたり、パレードをします。ニューヨークではヴィレッジ・ハロウィーン・パレードという大きなパレードがあり、世界中からたくさんの方が集まります。奇抜な仮装をしている人もいます。また、「トリック・オア・トリート」といえば、大体小学生ぐらいまで、一日で大量のお菓子がもらえます。すごく凝った飾りつけをしている家もあります。パーティーのお店は9月くらいからハロウィーンの飾りや仮装、スーパーなどで小さいお菓子がたくさん入ったトリック・オア・トリート用のお菓子がたくさん売っています。大人でも、会社によって仮装してくるようと言われることもあるそうです。もちろんハロウィーンをやらない家もあります。

←アメリカのハロウィーンの写真



編集後記

ハロウィーンというひとつのイベントをとっても国によって、規模や祝い方が大きく異なり、それぞれにその国の個性が表れていました。行事は、国の文化や国民の考え方などが顕著に表れているので実際に参加したりして日本との違いを知り、世界を感じるのに適しているのでたくさんの方に興味を持ってもらいたいと思います。

出典

国によって違う世界のハロウィン <https://www.sprachcaffe.com>

町中が骸骨で溢れる！メキシコのハロウィン「死者の日」を盛大に祝おう！！

<https://ovetabi.com./column/southamerica/mexico/10616.html>